

第 1 章

調査の概要等

1 調査の目的

平成27年度から始まる流山市の「第5次障害者計画」と「第4期障害福祉計画」を策定するに当たり、障害当事者の実情やニーズを把握し、市民の障害者施策への意見を計画に反映させることを目的とする。

2 調査項目

調査は以下の内容で、「回答者を問う質問」及び「問1」から「問44」までの質問にて構成した。

・回答者を問う質問

- 1 基礎的事項（問1～問11）
- 2 生活支援（問12～問20）
- 3 外出・移動支援（問21～問26）
- 4 社会参加・地域参加（問27～問29）
- 5 雇用・就業（問30～問33）
- 6 保健・医療（問34・問35）
- 7 情報・コミュニケーション（問36・問37）
- 8 介助者の状況（問38～問42）
- 9 今後の施策の重要度（問43）
- 10 自由意見（問44）

3 調査の実施概要

- (1) 調査区域：市内全域
- (2) 調査対象：平成25年12月1日現在市内に居住している障害のある市民
- (3) 抽出方法：各障害手帳所持者台帳からの無作為抽出法
- (4) 標本数（送付者数）：1,000人
 - *内訳 身体障害者 : 600人
 - 知的障害者 : 150人
 - 精神障害者等 : 200人
 - 障害児 : 50人
- (5) 実施方法：郵送配付－郵送回収法
- (6) 実施時期：平成25年12月中旬～平成26年1月10日

4 回収結果

- (1) 有効回収数：545票（回収数545票のうち無効票は無し。）
- (2) 有効回収率：54.5%

5 本報告書の見方

- 表・グラフ中、原則的に整数は回答者数（単位：人）を、小数第1位までの数値は百分率（単位：%）を、それぞれ表している。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数（n）として、小数第2位を四捨五入して算出している。そのため、合計が100%にならない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- 分析に際して必要な障害種別による集計（クロス集計）については、「問3」で回答している手帳の内容等に基づいて行った。